

障害福祉サービス提供実態調査

【1 居宅介護】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。				
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 4 医療法人 7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等) 2 社会福祉協議会 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) 6 特定非営利活動法人(NPO)				
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 8 重度障害者等包括支援 15 就労継続支援B型 2 重度訪問介護 9 共同生活介護(ケアホーム) 16 共同生活援助(グループホーム) 3 行動援護 10 自立訓練(機能訓練) 17 指定相談支援 4 療養介護 11 自立訓練(生活訓練) 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 5 生活介護 12 自立訓練(宿泊型) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 6 児童デイサービス 13 就労移行支援 20 1～19にはない 7 短期入所 14 就労継続支援A型				
主たる対象とする障害の種類(複数回答可)	1 身体障害 2 知的障害 3 精神障害 4 主たる対象とする障害の種類は定めていない ※運営規程をもとに記入。				
実利用者数(5月中)	人				
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人	
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人	
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人	
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人	
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人	
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人	
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人	
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人	
	ネブライザー	人	浣腸	人	
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人	
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人	
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人	
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人			
うち、通院等介助の利用者(5月中の実績)	病院等への通院	官公署	その他	「その他」の利用者がいる場合 主な行き先(上位3つ) 利用者数	
	人	人	人	①	人
				②	人
				③	人
サービス提供時間帯別延訪問回数(5月中)	6時～8時(早朝)	8時～12時	12時～18時	18時～22時(夜間)	22時～6時(深夜)
	回	回	回	回	回
通常の事業の実施地域以外の地域でのサービス提供実績(5月中)	1 実績あり →交通費実費を徴収した延訪問回数:()回、徴収した金額合計:()円 2 実績なし				

発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

障害福祉サービス提供実態調査 【2 重度訪問介護】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）

■提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。				
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合		4 医療法人		7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	2 社会福祉協議会		5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)		
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		6 特定非営利活動法人(NPO)		
	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		16 共同生活援助(グループホーム)
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		17 指定相談支援
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援		20 1～19にはない
	7 短期入所		14 就労継続支援A型		
実利用者数(5月中)	人				
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の管理を含む)	人	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の管理を除外)	人	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人	人
	ネブライザー	人	浣腸	人	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人			
サービス提供時間帯別延訪問回数(5月中)	6時～8時(早朝)	8時～12時	12時～18時	18時～22時(夜間)	22時～6時(深夜)
	回	回	回	回	回
通常の事業の実施地域以外の地域でのサービス提供実績(5月中)	1 実績あり →交通費実費を徴収した延訪問回数:()回、徴収した金額合計:()円 2 実績なし				
要件が経過措置対象の従事者の実人数(5末日現在)		サービス提供責任者(研修+実務経験3年)	一般ヘルパー(研修+実務経験1年)		
	常勤	人	人		
	非常勤	人	人		

発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

障害福祉サービス提供実態調査

【3 行動援護】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）

■提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。				
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合		4 医療法人	7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)	
	2 社会福祉協議会		5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)		
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		6 特定非営利活動法人(NPO)		
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護	8 重度障害者等包括支援	15 就労継続支援B型		
	2 重度訪問介護	9 共同生活介護(ケアホーム)	16 共同生活援助(グループホーム)		
	3 行動援護	10 自立訓練(機能訓練)	17 指定相談支援		
	4 療養介護	11 自立訓練(生活訓練)	18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)		
	5 生活介護	12 自立訓練(宿泊型)	19 訪問看護(医療保険、介護保険)		
	6 児童デイサービス	13 就労移行支援	20 1～19にはない		
	7 短期入所	14 就労継続支援A型			
実利用者数(5月中)	人				
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の管理を含む)	人	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の管理なし)	人	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人	人
	ネブライザー	人	浣腸	人	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人			
サービス提供時間帯別延訪問回数(5月中)	6時～8時(早朝)	8時～12時	12時～18時	18時～22時(夜間)	22時～6時(深夜)
	回	回	回	回	回
通常の事業の実施地域以外の地域でのサービス提供実績(5月中)	1 実績あり →交通費実費を徴収した延訪問回数:()回、徴収した金額合計:()円 2 実績なし				
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。				
発達障害者の実人数	人				
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない				
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。				
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人				

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査

【4 重度障害者包括支援】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。			
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO)	7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)	
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護 6 児童デイサービス 7 短期入所	8 重度障害者等包括支援 9 共同生活介護(ケアホーム) 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 自立訓練(宿泊型) 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型	15 就労継続支援B型 16 共同生活援助(グループホーム) 17 指定相談支援 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 20 1～19にはない	
自立支援法36条の指定を受けているサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護	6 児童デイサービス 7 短期入所 8 共同生活介護(ケアホーム) 9 自立訓練(機能訓練) 10 自立訓練(生活訓練)	11 自立訓練(宿泊型) 12 就労移行支援 13 就労継続支援A型 14 就労継続支援B型 15 共同生活援助(グループホーム)	
自らの事業所で提供しているサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 生活介護 5 児童デイサービス	6 短期入所 7 共同生活介護(ケアホーム) 8 自立訓練(機能訓練) 9 自立訓練(生活訓練) 10 自立訓練(宿泊型)	11 就労移行支援 12 就労継続支援A型 13 就労継続支援B型 14 旧施設支援(通所)	
第三者に委託して提供しているサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 生活介護 5 児童デイサービス	6 短期入所 7 共同生活介護(ケアホーム) 8 自立訓練(機能訓練) 9 自立訓練(生活訓練) 10 自立訓練(宿泊型)	11 就労移行支援 12 就労継続支援A型 13 就労継続支援B型 14 旧施設支援(通所)	
実利用者数(5月中)	人			
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人
	ネブライザー	人	浣腸	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人		

発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

障害福祉サービス提供実態調査

【5 療養介護】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）

■提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。					
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合		4 医療法人		7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)	
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	2 社会福祉協議会		5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)		15 就労継続支援B型	
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		6 特定非営利活動法人(NPO)		16 共同生活援助(グループホーム)	
	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		17 指定相談支援	
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)	
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)	
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		20 1～19にはない	
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)			
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援			
	7 短期入所		14 就労継続支援A型			
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設		4 児童福祉施設		7 1～6との併設はない	
	2 身体障害者更生援護施設		5 精神障害者社会復帰施設			
	3 知的障害者援護施設		6 介護保険施設・事業所			
定員(5月末日現在)	人					
実利用者数(5月中)	人					
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人	人	
	吸引(鼻腔)	人	じょうろの処置(圧力・温度)	人	人	
	吸引(咽頭より奥または経鼻経管開)	人	経鼻経管開の処置(圧力・IV度)	人	人	
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人	人	
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人	人	
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人	人	
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人	人	
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人	人	
	ネブライザー	人	浣腸	人	人	
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人	人	
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人	人	
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人	人	
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人				
	延利用者数(5月中)	人				
入院・外泊の状況(5月中に病院に戻った利用者の実績) ※入院・外泊1回につき1とカウント(1泊2日は除く) ※同一者が複数回入院・外泊している場合、それぞれ1とカウント	入院・外泊の期間					
		2泊3日	3泊4日以上 11泊12日以下	12泊13日以上 21泊22日以下	22泊23日以上 31泊32日以下	32泊33日以上
	入院	回	回	回	回	回
外泊	回	回	回	回	回	
夜間の勤務体制(5月30日夜～31日朝にかけて)	夜勤	人	→うち、看護職員:()人		※夜勤とは、夜間に本来業務に従事するものをいいます。24時時点で勤務している者の人数を記入して下さい。	
	宿直	人	→うち、看護職員:()人		※宿直とは、事業所に宿泊して行う定時的巡視、非常事態に備えての待機等を目的とする勤務をいいます。夜間警備を外部委託している場合は、含めなくて下さい。	
	夜勤・宿直者のうち併設施設の職務に従事している者(再掲)	人				

要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に研修未受講
	常勤	人	
	非常勤	人	
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

障害福祉サービス提供実態調査

【6 生活介護】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。		
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO)	7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護 6 児童デイサービス 7 短期入所	8 重度障害者等包括支援 9 共同生活介護(ケアホーム) 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 自立訓練(宿泊型) 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型	15 就労継続支援B型 16 共同生活援助(グループホーム) 17 指定相談支援 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 20 1～19にはない
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 2 身体障害者更生援護施設 3 知的障害者援護施設	4 児童福祉施設 5 精神障害者社会復帰施設 6 介護保険施設・事業所	7 1～6との併設はない
定員(5月末日現在)	人		
開所日数(5月中)	日		
実利用者数(5月中)	人		
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口内)	持続モニタリングの管理(心電図・血圧・酸素飽和度等)	人
	吸引(鼻腔)	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人
	経鼻経管栄養	創傷処置	人
	胃ろうによる栄養管理	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人
	点滴	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	インスリン注射	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	導尿	人
	ネブライザー	浣腸	人
	酸素療法(酸素吸入)	摘便	人
	気管切開のケア	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人
	人工呼吸器の観察	麻薬の管理	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)		人
	うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人	

うち、施設入所支援 を利用している者	1 いる ↓		2 いない					
	障害程度区分、 年齢階級の状況	18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上		
		区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人			
延利用者数(5月中)	人							
利用時間数別	4時間未満	4時間以上 8時間未満	8時間以上					
	人	人	人					
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり ↓		2 入院なし		3 把握していない			
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間 中の被服等の準備や利用者の相談支援など、 日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円 滑な生活移行が可能となるよう、病院または診 療所との連絡調整を行ったケースの有無 入院日数の合計別ケース数 <small>※入院の初日・最終日を除いてカウントして下 さい。</small>	1 あり ↓		2 なし					
	3日以下	4日以上						
	ケース		ケース					
創作活動の実施状況 (5月中)(複数回答可)	1 造形 2 絵画 3 園芸 4 レクリエーション 5 その他() 6 実績なし							
生産活動の実施状況 (5月中) (複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他]							
	2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製 オ. 印刷 エ. 木工・工芸品 オ. 環境・ラミネート カ. 農産品、草花 キ. その他]							
	3 事業所外での労働・世帯 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他]							
	4 飲食店、喫茶店等ショップ経営							
	5 その他()							
	6 実績なし							
利用契約上の利用料 (5月分) ※うち数は記入できる場合 のみ記入	合計		徴収人数	徴収金額				
	うち、食事の提供に要する費用		人	円				
食事提供体制加算の 算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし							
通所サービス等利用 促進事業の利用(5月 中)	1 利用あり 2 利用なし							
要件が経過措置対象 となっているサービス 管理責任者の実人数 (5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理 責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に 研修未受講					
	常勤		人	人				
	非常勤		人	人				
発達障害者の利用(5 月中)	1 実績あり ↓		2 実績なし		※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。			
発達障害者の実人数	人							
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない							
高次脳機能障害者の 利用(5月中)	1 実績あり ↓		2 実績なし		※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。			
高次脳機能障害者の 実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人							

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査

【7 児童デイサービス】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。		
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 4 医療法人 7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等) 2 社会福祉協議会 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) 6 特定非営利活動法人(NPO)		
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 8 重度障害者等包括支援 15 就労継続支援B型 2 重度訪問介護 9 共同生活介護(ケアホーム) 16 共同生活援助(グループホーム) 3 行動援護 10 自立訓練(機能訓練) 17 指定相談支援 4 療養介護 11 自立訓練(生活訓練) 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 5 生活介護 12 自立訓練(宿泊型) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 6 児童デイサービス 13 就労移行支援 20 1～19にはない 7 短期入所 14 就労継続支援A型		
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 4 児童福祉施設 7 1～6との併設はない 2 身体障害者更生援護施設 5 精神障害者社会復帰施設 3 知的障害者援護施設 6 介護保険施設・事業所		
定員(5月末日現在)	人		
開所日数(5月中)	日		
開所時間	【記入例】	①(9): (30) ~ (15): (30) 開所 2 休み	
※運営規程をもとに記入	月曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
※各日該当する数字に○	火曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
※時間は24時制で記入	水曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
	木曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
	金曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
	土曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
	日曜	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	
	祝祭日	1 () : () ~ () : () 開所 2 休み	

実利用者数(5月中)	人 →うち、未就学児:()人							
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人				
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人				
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人				
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人				
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人				
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人				
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人				
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人				
	ネブライザー	人	浣腸	人				
	酸素療法(酸素吸入)	人	排便	人				
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人				
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人				
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人						
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人							
うち、学校が送迎した者(5月中の実績)	人							
延利用者数(5月中)	人 →うち、未就学児:()人							
年齢階級、受入・退所時間別(5月23日～29日の1週間の実績)	年齢	受入時間		退所時間				
		9時以前	9時～12時	9時以前	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時以降
	未就学児	9時以前		人	人	人	人	人
		9時～12時		人	人	人	人	人
		12時～15時		人	人	人	人	人
		15時～18時		人	人	人	人	人
		18時以降		人	人	人	人	人
	就学児	9時以前		人	人	人	人	人
		9時～12時		人	人	人	人	人
		12時～15時		人	人	人	人	人
		15時～18時		人	人	人	人	人
18時以降			人	人	人	人	人	
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に研修未受講					
	常勤	人					人	
	非常勤	人					人	
発達障害児の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害児とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている児をいいます。					
発達障害児の実人数	人							
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない							
高次脳機能障害児の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害児とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。					
高次脳機能障害児の実人数	人 →うち、障害者手帳のない者:()人							

■■■調査は以上で終わります。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査

【8 短期入所】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。						
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合		4 医療法人		7 その他の法人(社団・財団・農協、生協等)		
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	2 社会福祉協議会		5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)		16 共同生活援助(グループホーム)		
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		6 特定非営利活動法人(NPO)		17 指定相談支援		
	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型		
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)		
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)		
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		20 1～19にはない		
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)				
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援				
	7 短期入所		14 就労継続支援A型				
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設		4 児童福祉施設		7 1～6との併設はない		
	2 身体障害者更生援護施設		5 精神障害者社会復帰施設				
	3 知的障害者援護施設		6 介護保険施設・事業所				
事業所類型(複数回答可)	1 空床利用型		2 併設型		3 単独型		
報酬区分	1 福祉型		2 医療型				
定員(5月末日現在)	人 ※空床利用型の場合は記入不要。						
居室面積合計	㎡ ※併設型に都道府県に届け出た居室面積(収納設備等)の合計値(㎡)を記入。複数ある場合は下2位を四捨五入し第1位までを記入。						
居室面積の経過措置	1 適用なし 2 適用あり(6㎡) 3 適用あり(4㎡)						
定員1人の居室(個室)数	室						
実利用者数(5月中)	人						
日中の主な過ごし方別※複数の場合、主なものいずれか1つでカウント	短期入所	その他の障害福祉サービス	地域生活支援事業	一般就労	学校	その他	
	人	人	人	人	人	人	人
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)		人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)			人
	吸引(鼻腔)		人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)			人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)		人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)			人
	経鼻経管栄養		人	創傷処置			人
	胃ろうによる栄養管理		人	疼痛管理(麻薬の使用あり)			人
	点滴		人	疼痛管理(麻薬の使用なし)			人
	膀胱(留置)カテーテルの管理		人	インスリン注射			人
	人工肛門(ストーマ)のケア		人	導尿			人
	ネブライザー		人	浣腸			人
	酸素療法(酸素吸入)		人	摘便			人
	気管切開のケア		人	服薬管理(麻薬の管理を除く)			人
	人工呼吸器の観察		人	麻薬の管理			人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)		人				
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人						

延利用者数(5月中)	人						
受入・退所時間別 (5月23日～29日の1 週間に退所した者の 実績)	受入時間		退所時間				
			0時～9時	9時～17時	17時～24時		
	0時～9時		人	人	人		
	9時～17時		人	人	人		
利用期間別(5月中 に退所した者の実 績)	1泊2日	2泊3日～ 6泊7日(1週間)	7泊8日～ 13泊14日(2週間)	14泊15日～ 29泊30日(1ヶ月)	31泊32日～ 90泊91日(3ヶ月)	91泊92日～ 180泊181日(6ヶ月)	181泊182日 (6ヶ月)以上
	人	人	人	人	人	人	人
利用契約上の利用料 (5月分) ※うち数は記入できる場合 のみ記入	合計			徴収人数	徴収金額		
	うち、食事の提供に要する費用			人	円		
	うち、光熱水費			人	円		
夜間の勤務体制(5月 30日夜～31日朝にか けて)	夜勤	人 →うち、看護職員:()人			※夜勤とは、夜間に本来業務に従事するものをいいます。 24時時点で勤務している者の人数を記入して下さい。		
	宿直	人 →うち、看護職員:()人			※宿直とは、事業所に宿泊して行う定時的巡視、非常事態 に備えての待機等を目的とする勤務をいいます。夜間警 備を外部委託している場合は、含めない下さい。		
	夜勤・宿直者のうち併設施設 の職務に従事している者(再掲)	人					
食事提供体制加算の 算定(5月中)	1 算定あり	2 算定なし					
通所サービス等利用 促進事業の利用(5月 中)	1 利用あり	2 利用なし					
発達障害者の利用(5 月中)	1 実績あり	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障 害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。				
発達障害者の実人 数	人						
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない						
高次脳機能障害者の 利用(5月中)	1 実績あり	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をい います。				
高次脳機能障害者の 実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者()人						

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査

【9 共同生活介護(ケアホーム)・共同生活援助(グループホーム)】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部 (担当: 高森、山田 (栄))
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局 (担当: 高橋、油目)
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話: 03-3518-8498 (土日祝除く9時30分~18時)

■提出期限: 平成23年6月17日(金)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。									
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合			4 医療法人			7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)			
	2 社会福祉協議会			5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)						
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)			6 特定非営利活動法人(NPO)						
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型					
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		16 共同生活援助(グループホーム)					
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		17 指定相談支援					
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)					
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)					
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援		20 1~19にはない					
	7 短期入所		14 就労継続支援A型							
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設			4 児童福祉施設			7 1~6との併設はない			
	2 身体障害者更生援護施設			5 精神障害者社会復帰施設						
	3 知的障害者援護施設			6 介護保険施設・事業所						
事業所類型	1 共同生活介護(ケアホーム)単独			2 共同生活援助(グループホーム)単独			3 共同生活介護・共同生活援助一体型			
定員(5月末日現在)	人 →【一体型の場合】うち、共同生活介護(ケアホーム):()人									
定員別共同住居の戸数(5月末日現在)	4人以下	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11~20人	21~30人	
実利用者数(5月中)	人 →【一体型の場合】うち、共同生活介護(ケアホーム):()人									
年齢階級別	18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上					
	人	人	人	人	人					
夜間の支援内容別(5月中の実績) ※複数の支援を実施の場合、それぞれに1とカウント	排泄介助	体位交換	水分補給	服薬管理	不眠・昼夜逆転への対応	その他行動障害への対応	見守り・話し相手(定期巡視除く)	その他	何らかの支援が必要な者合計	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)			人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)			人		
	吸引(鼻腔)			人	じょくそうの処置(I度・II度)			人		
	吸引(咽頭より奥または気管切開)			人	じょくそうの処置(III度・IV度)			人		
	経鼻経管栄養			人	創傷処置			人		
	胃ろうによる栄養管理			人	疼痛管理(麻薬の使用あり)			人		
	点滴			人	疼痛管理(麻薬の使用なし)			人		
	膀胱(留置)カテーテルの管理			人	インスリン注射			人		
	人工肛門(ストーマ)のケア			人	導尿			人		
	ネブライザー			人	浣腸			人		
	酸素療法(酸素吸入)			人	排便			人		
	気管切開のケア			人	服薬管理(麻薬の管理を除く)			人		
	人工呼吸器の観察			人	麻薬の管理			人		
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)			人						

うち、日中の主な居所がケアホーム・グループホームの者	1 いる	2 いない						
		活動プログラムの提供	食事介助	排泄介助	入浴介助	外出支援	通院介助	見守りのみ
	区分1	人	人	人	人	人	人	人
	区分2	人	人	人	人	人	人	人
	区分3	人	人	人	人	人	人	人
	区分4	人	人	人	人	人	人	人
	区分5	人	人	人	人	人	人	人
	区分6	人	人	人	人	人	人	人
非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	人	人	
延利用者数(5月中)	人 →【一体型の場合】うち、共同生活介護(ケアホーム):()人							
障害程度区分、障害種別		身体障害	知的障害	精神障害	重複障害			
	区分1	人	人	人	人			
	区分2	人	人	人	人			
	区分3	人	人	人	人			
	区分4	人	人	人	人			
	区分5	人	人	人	人			
	区分6	人	人	人	人			
	非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人			
利用契約上の利用料(5月分) ※うち数は記入できる場合のみ記入			徴収人数	徴収金額				
	合計		人	円				
	うち、食材料費		人	円				
	うち、家賃		人	円				
	うち、光熱水費		人	円				
日中支援の実施者(5月中) (複数回答可)	1 世話人 2 生活支援員 3 サービス管理責任者	4 管理者 5 生活支援員業務の委託先職員 6 バックアップ施設職員	7 その他					
夜間の勤務体制(5月30日夜～31日朝にかけて)	夜勤	人	※夜勤とは、夜間に本来業務に従事するものをいいます。24時時点で勤務している者の人数を記入して下さい。					
	宿直	人	※宿直とは、事業所に宿泊して行う定時的巡視、非常事態に備えての待機等を目的とする勤務をいいます。夜間警備を外部委託している場合は、含めないで下さい。					
	夜勤・宿直者のうち併設施設の職務に従事している者(再掲)	人						
	夜勤・宿直者が巡回している共同住居の戸数	戸						
夜勤・宿直の実施者(5月中) (複数回答可)	1 世話人 2 生活支援員 3 サービス管理責任者	4 管理者 5 生活支援員業務の委託先職員 6 バックアップ施設職員	7 その他					
看護師の配置(5月末日現在)	1 配置あり	2 配置なし						
訪問看護の利用実績(5月中)	1 実績あり	2 実績なし						
夜間・休日、緊急時の医療体制(5月末日現在) (複数回答可)	1 夜間・休日の勤務体制に看護職員が含まれる 2 夜間・休日は、事業所の看護職員にオンコール体制をとっている 3 夜間・休日は、訪問看護ステーション等の看護師にオンコール体制をとっている 4 緊急時は、協力医療機関から必要に応じて訪問してもらう 5 緊急時は、協力医療機関から電話で指示を得る 6 緊急時は、入居者の主治医から必要に応じて訪問してもらう 7 緊急時は、入居者の主治医から電話で指示を得る 8 その他()							
栄養士の配置(5月末日現在)(複数回答可)	1 管理栄養士の配置あり	2 栄養士の配置あり	3 配置なし					

要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数 (5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		
		うち、定員超過を理由に研修未受講	
	常勤	人	
非常勤	人	人	
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ↓		※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。
発達障害者の実人数	人		
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない		
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ↓		※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

sample

障害福祉サービス提供実態調査 【10 施設入所支援】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）

■提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。						
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合		4 医療法人		7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)		
	2 社会福祉協議会		5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)				
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		6 特定非営利活動法人(NPO)				
指定されている居間実施サービス(複数回答可)	1 生活介護		3 自立訓練(生活訓練)		5 就労継続支援A型		
	2 自立訓練(機能訓練)		4 就労移行支援		6 就労継続支援B型		
定員(5月末日現在)	人						
居室面積合計	㎡ ※指定時に都道府県に届け出た居室面積(収納設備等除く)の合計値について、小数点以下第2位を四捨五入し第1位までを記入。						
居室面積の経過措置	1 適用なし		2 適用あり(6.6㎡)		3 適用あり(4.4㎡)		
定員1人の居室(個室)数	室						
ユニットケア(5月末日現在)	1 実施あり		2 実施なし		※ユニットケアとは、施設の全部において少数の居室及び当該居室に近接して設けられる共同生活室(当該居室の入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所)により一体的に構成される場所(ユニット)ごとに入居者の日常生活が営まれ、これに対する支援が行われることをいう。		
実利用者数(5月中)	人						
日中活動を利用しない日の主な活動状況別※複数の場合、主なものいずれか1つでカウント	一時帰宅	施設外での余暇活動(散歩)	通院	施設内での余暇活動(地域住民と交流)	その他		
	人						
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの吸引)	人		心電図モニターの装着	心拍・血圧・酸素飽和度等	人	
	吸引(鼻腔)	人		じょくそうの処置(I度・II度)	人		
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人		じょくそうの処置(III度・IV度)	人		
	経鼻経管栄養	人		創傷処置	人		
	胃ろうによる栄養管理	人		疼痛管理(麻薬の使用あり)	人		
	点滴	人		疼痛管理(麻薬の使用なし)	人		
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人		インスリン注射	人		
	人工肛門(ストーマ)のケア	人		導尿	人		
	ネブライザー	人		浣腸	人		
	酸素療法(酸素吸入)	人		摘便	人		
	気管切開のケア	人		服薬管理(麻薬の管理を除く)	人		
	人工呼吸器の観察	人		麻薬の管理	人		
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人					
延利用者数(5月中)	人						
入院・外泊の状況(5月中) ※入院・外泊1回につき1とカウント(泊数は問わない) ※1泊2日も含む	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	非該当・その他(認定中等)
	回	回	回	回	回	回	回

利用契約上の利用料 (5月分) ※うち数は記入できる場合 のみ記入	合計	徴収人数	徴収金額		
	うち、食事の提供に要する費用	人	円		
	うち、光熱水費	人	円		
	うち、特別な居室料	人	円		
昼間実施サービスの 状況(5月中)	1 昼間実施サービスの定員合計＝施設入所支援(夜間)の定員であり、昼間に入所者以外の利用実績はない 2 1以外				
5月中で日中支援加 算を最も多く算定し た日の9～17時の職 員体制	勤務した職員の実人数	人			
	勤務した職員の勤務時間合計	時間 ※小数点以下第2位を四捨五入し第1位までを記入。			
夜間の勤務体制(5月 30日夜～31日朝にか けて)	夜勤	人	→うち、看護職員:()人	※夜勤とは、夜間に本来業務に従事するものをいいます。 24時時点で勤務している者の人数を記入して下さい。	
	宿直	人	→うち、看護職員:()人	※宿直とは、事業所に宿泊して行う定時的巡視、非常事態 に備えての待機等を目的とする勤務をいいます。夜間警 備を外部委託している場合は、含めないで下さい。	
	夜勤・宿直者のうち併施設設 の職務に従事している者(再掲)	人			
夜勤・宿直者の勤務 時間合計(5月30日21 時から31日6時にか けて) ※小数点以下第2位を四捨 五入し第1位までを記入。	利用者に対する 直接支援	時間	その他業務 (事務、記録等)	休憩・仮眠	
	夜勤	時間	時間	時間	
宿直	時間	時間	時間	時間	
栄養マネジメント加算 の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし				
人員配置(実人数)	常勤・管理栄養士	非常勤・管理栄養士	栄養管理業務に関し5年以上 の実務経験を有する栄養士		
	人	人	人		
発達障害者の利用(5 月中)	1 実績あり 2 実績なし ※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障 害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。				
発達障害者の実人 数	人				
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 司法書士 3 業務療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 ※特別な配置はしていない				
高次脳機能障害者の 利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし ※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、高次脳機能障害として医師の確定診断を受けている者をい います。				
高次脳機能障害者 の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人				

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査 【11 自立訓練(機能訓練)】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部(担当:高森、山田(栄))
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局(担当:高橋、油目)
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話:03-3518-8498(土日祝除く9時30分~18時)

■提出期限:平成23年6月17日(金)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。										
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合			4 医療法人			7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)				
	2 社会福祉協議会			5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)							
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)			6 特定非営利活動法人(NPO)							
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型						
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		16 共同生活援助(グループホーム)						
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		17 指定相談支援						
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)						
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)						
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援		20 1~19にはない						
	7 短期入所		14 就労継続支援A型								
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設			4 児童福祉施設			7 1~6との併設はない				
	2 身体障害者更生援護施設			5 精神障害者社会復帰施設							
	3 知的障害者援護施設			6 介護保険施設・事業所							
定員(5月末日現在)	人										
開所日数(5月中)	日										
実利用者数(5月中)	人										
主な障害名別※複数の場合、主なものをいずれか1つでカウント	視覚障害		聴覚障害		身体障害		知的障害		発達障害		不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
利用期間別(5月末日時点)	6ヶ月以下	6ヶ月超1年以下	1年超1年6ヶ月以下	1年6ヶ月超2年以下	2年超2年6ヶ月以下	2年6ヶ月超3年以下	3年超3年6ヶ月以下	3年6ヶ月超4年以下	4年超		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)			人			持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)			人	
	吸引(鼻腔)			人			じょくそうの処置(I度・II度)			人	
	吸引(咽頭より奥または気管切開)			人			じょくそうの処置(III度・IV度)			人	
	経鼻経管栄養			人			創傷処置			人	
	胃ろうによる栄養管理			人			疼痛管理(麻薬の使用あり)			人	
	点滴			人			疼痛管理(麻薬の使用なし)			人	
	膀胱(留置)カテーテルの管理			人			インスリン注射			人	
	人工肛門(ストーマ)のケア			人			導尿			人	
	ネブライザー			人			浣腸			人	
	酸素療法(酸素吸入)			人			摘便			人	
	気管切開のケア			人			服薬管理(麻薬の管理を除く)			人	
	人工呼吸器の観察			人			麻薬の管理			人	
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)			人							
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人										
うち、施設入所支援を利用している者	人										
延利用者数(5月中)	人										

居室への訪問(5月中)	1 実績あり		2 実績なし												
支援時間別延訪問回数	~30分未満	30分~1時間未満	1時間以上~1時間30分未満	1時間30分以上~2時間未満	2時間以上~2時間30分未満	2時間30分以上~3時間未満	3時間超								
	人	人	人	人	人	人	人								
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり		2 入院なし		3 把握していない										
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無	1 あり		2 なし												
入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。	3日以下		4日以上												
	ケース		ケース												
機能訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○	通所			訪問			通所			訪問					
	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供実績あり	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供実績あり	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供実績あり	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供実績あり			
	【記入例】			①	2	3	1	2	③	1	2	3	1	2	3
	屋内歩行(移動)訓練			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	白杖等による屋外歩行(移動)訓練			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	公共交通機関の利用訓練			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	移動介助の受け方訓練			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	日常生活訓練(家事、身の回りのこと等)			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	IT(パソコン、メール、インターネット等)活用訓練			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
理学療法士、作業療法士、機能訓練指導員の実人数(5月末日現在) ※複数資格保有の場合、左の職種に優先して記入	理学療法士		作業療法士		看護師		柔道整復師		あん摩マッサージ指圧師		言語聴覚士		その他		
常勤	人		人		人		人		人		人		人		
非常勤	人		人		人		人		人		人		人		
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり		2 算定なし												
通所サービス等利用促進事業の利用(5月中)	1 利用あり		2 利用なし												
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)			うち、定員超過を理由に研修未受講											
	常勤			人											
	非常勤			人											
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。										
発達障害者の実人数	人														
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員		2 理学療法士		3 作業療法士		4 言語聴覚士		5 その他職種		6 特別な配置はしていない				
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。										
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人														

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査 【12 自立訓練(生活訓練)】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部(担当:高森、山田(栄))
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局(担当:高橋、油目)
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話:03-3518-8498(土日祝除く9時30分~18時)
- 提出期限:平成23年6月17日(金)
※同封の返信用封筒(切手不要)に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。									
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合			4 医療法人			7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)			
	2 社会福祉協議会			5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)						
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)			6 特定非営利活動法人(NPO)						
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型					
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		16 共同生活援助(グループホーム)					
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		17 指定相談支援					
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)					
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)					
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援		20 1~19にはない					
	7 短期入所		14 就労継続支援A型							
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設			4 児童福祉施設			7 1~6との併設はない			
	2 身体障害者更生援護施設			5 精神障害者社会復帰施設						
	3 知的障害者援護施設			6 介護保険施設・事業所						
定員(5月末日現在)	人									
開所日数(5月中)	日									
実利用者数(5月中)	人									
主な障害種別※複数の場合、主なものをいずれか1つでカウント	知的障害		精神障害		複合障害		その他			
	人		人		人		人			
利用期間別(5月末日時点)	6ヶ月以下	6ヶ月超1年以下	1年超1年6ヶ月以下	1年6ヶ月超2年以下	2年超2年6ヶ月以下	2年6ヶ月超3年以下	3年超3年6ヶ月以下	3年6ヶ月超4年以下	4年超	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)			人			持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)			人
	吸引(鼻腔)			人			じょくそうの処置(I度・II度)			人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)			人			じょくそうの処置(III度・IV度)			人
	経鼻経管栄養			人			創傷処置			人
	胃ろうによる栄養管理			人			疼痛管理(麻薬の使用あり)			人
	点滴			人			疼痛管理(麻薬の使用なし)			人
	膀胱(留置)カテーテルの管理			人			インスリン注射			人
	人工肛門(ストーマ)のケア			人			導尿			人
	ネブライザー			人			浣腸			人
	酸素療法(酸素吸入)			人			摘便			人
	気管切開のケア			人			服薬管理(麻薬の管理を除く)			人
	人工呼吸器の観察			人			麻薬の管理			人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)			人						
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人									
うち、施設入所支援を利用している者	人									
うち、宿泊型自立訓練を利用している者	人 →うち、同一法人(実質的同一経営を含む)が実施している宿泊型自立訓練を利用している者:()人									
延利用者数(5月中)	人									

居宅への訪問(5月中)	1 実績あり		2 実績なし									
支援時間別延訪問回数	~30分未満	30分~1時間未満	1時間以上~1時間30分未満	1時間30分以上~2時間未満	2時間以上~2時間30分未満	2時間30分以上~3時間未満	3時間超					
	人	人	人	人	人	人	人					
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり		2 入院なし		3 把握していない							
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無	1 あり		2 なし									
入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。	3日以下		4日以上									
	ケース		ケース									
生活訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○	通所			訪問			通所			訪問		
	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし	1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし
	【記入例】			①	2	3	1	2	③	地域生活のルール(安全管理)、マナーの習得訓練		
	生活リズムの確立訓練			1	2	3	1	2	3	適切な人間関係の構築を図るための習得訓練		
	食事、排泄等の基本動作の習得訓練			1	2	3	1	2	3	衝動欲求、ストレス対処に関する訓練		
	着脱衣、洗面、身だしなみ等の身辺対処の習得訓練			1	2	3	1	2	3	交通機関、金融機関、役所などの公共機関の活用訓練		
	洗濯、調理、買い物、掃除などの日常生活関連対処の習得訓練			1	2	3	1	2	3	家族間調整、家族に対する支援		
	受診、服薬、疾病、栄養管理など健康対処の習得訓練			1	2	3	1	2	3	他施設利用、就労移行などの調整支援		
生活支援員の実人数(5月末日現在) ※複数資格保有の場合、左の職種に優先して記入	看護職員		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	その他				
常勤	人		人	人	人	人	人	人				
非常勤	人		人	人	人	人	人	人				
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり		2 算定なし									
通所サービス等利用促進事業の利用(5月中)	1 利用あり		2 利用なし									
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)			うち、定員超過を理由に研修未受講								
	常勤	人		人			人					
	非常勤	人		人			人					
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。							
発達障害者の実人数	人											
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員		2 理学療法士		3 作業療法士		4 言語聴覚士		5 その他職種		6 特別な配置はしていない	
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。							
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人											

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査 【13 宿泊型自立訓練】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。									
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合			4 医療法人			7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)			
	2 社会福祉協議会			5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社)						
	3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)			6 特定非営利活動法人(NPO)						
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護		8 重度障害者等包括支援		15 就労継続支援B型					
	2 重度訪問介護		9 共同生活介護(ケアホーム)		16 共同生活援助(グループホーム)					
	3 行動援護		10 自立訓練(機能訓練)		17 指定相談支援					
	4 療養介護		11 自立訓練(生活訓練)		18 介護保険の訪問介護(介護予防含む)					
	5 生活介護		12 自立訓練(宿泊型)		19 訪問看護(医療保険、介護保険)					
	6 児童デイサービス		13 就労移行支援		20 1～19にはない					
	7 短期入所		14 就労継続支援A型							
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設			4 児童福祉施設			7 1～6との併設はない			
	2 身体障害者更生援護施設			5 精神障害者社会復帰施設						
	3 知的障害者援護施設			6 介護保険施設・事業所						
定員(5月末日現在)	人									
実利用者数(5月中)	人									
主な障害種別※複数の場合、主なものをいずれか1つでカウント	知的障害		精神障害		重複障害		その他			
	人									
利用期間別(5月末日時点)	6ヶ月以下	6ヶ月超1年以下	1年超1年6ヶ月以下	1年6ヶ月超2年以下	2年超2年6ヶ月以下	2年6ヶ月超3年以下	3年超3年6ヶ月以下	3年6ヶ月超4年以下	4年超	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)		人		持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)		人			
	吸引(鼻腔)		人		じょくそうの処置(I度・II度)		人			
	吸引(咽頭より奥または気管切開)		人		じょくそうの処置(III度・IV度)		人			
	経鼻経管栄養		人		創傷処置		人			
	胃ろうによる栄養管理		人		疼痛管理(麻薬の使用あり)		人			
	点滴		人		疼痛管理(麻薬の使用なし)		人			
	膀胱(留置)カテーテルの管理		人		インスリン注射		人			
	人工肛門(ストーマ)のケア		人		導尿		人			
	ネブライザー		人		浣腸		人			
	酸素療法(酸素吸入)		人		摘便		人			
	気管切開のケア		人		服薬管理(麻薬の管理を除く)		人			
	人工呼吸器の観察		人		麻薬の管理		人			
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)		人							
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人									
うち、日中、自立訓練(生活訓練)を利用している者	人 →うち、同一法人(実質的同一経営を含む)が実施している自立訓練(生活訓練)を利用している者:()人									
延利用者数(5月中)	人									

宿泊型生活訓練の実施状況(5月中の実績) ※各項目該当する数字に○		1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし		1 提供実績あり	2 提供実績なし	3 提供体制なし	
	【記入例】	①	2	3	地域生活のルール(安全管理)、マナーの習得訓練	1	2	3	
	生活リズムの確立訓練	1	2	3	適切な人間関係の構築を図るための習得訓練	1	2	3	
	食事、排泄等の基本動作の習得訓練	1	2	3	衝動欲求、ストレス対処に関する訓練	1	2	3	
	着脱衣、洗面、身だしなみ等の身辺対処の習得訓練	1	2	3	交通機関、金融機関、役所などの公共機関の活用訓練	1	2	3	
	洗濯、調理、買い物、掃除などの日常生活関連対処の習得訓練	1	2	3	家族間調整、家族に対する支援	1	2	3	
受診、服薬、疾病、栄養管理など健康対処の習得訓練	1	2	3	他施設利用、就労移行などの調整支援	1	2	3		
生活支援員の 実人数 (5月末日現在) ※複数資格保有の場合、 左の職種に優先して記入		看護職員	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	その他	
	常勤	人	人	人	人	人	人	人	人
非常勤	人	人	人	人	人	人	人	人	人
地域移行支援員の 実人数 (5月末日現在) ※複数資格保有の場合、 左の職種に優先して記入		社会福祉士	精神保健福祉士	看護職員	介護福祉士	理学療法士	作業療法士	その他	
	常勤	人	人	人	人	人	人	人	人
非常勤	人	人	人	人	人	人	人	人	人
食事提供体制加算の 算定(5月中)	1 算定あり		2 算定なし						
通所サービス等利用 促進事業の利用(5月中)	1 利用あり		2 利用なし						
要件が経過措置対象 となっているサービス 管理責任者の実人数 (5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)				うち、定員超過を理由に研修未受講				
	常勤	人							
非常勤	人			人					
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※発達障害者は、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、中重度の知的障害、多動性障害その他これに類する脳機能障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。				
発達障害者の実人数	人								
特別な職員の配置 (複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない								
高次脳機能障害者の 利用(5月中)	1 実績あり		2 実績なし		※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。				
高次脳機能障害者の 実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人								

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査

【14 就労移行支援】

■調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

■調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）

■提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。			
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO)	7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)	
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護 6 児童デイサービス 7 短期入所	8 重度障害者等包括支援 9 共同生活介護(ケアホーム) 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 自立訓練(宿泊型) 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型	15 就労継続支援B型 16 共同生活援助(グループホーム) 17 指定相談支援 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 20 1～19にはない	
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 2 身体障害者更生援護施設 3 知的障害者援護施設	4 児童福祉施設 5 精神障害者社会復帰施設 6 介護保険施設・事業所	7 1～6との併設はない	
定員(5月末日現在)	人			
開所日数(5月中)	日			
実利用者数(5月中)	人			
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口内)	人	持続性(5分)の管理(血圧・酸素飽和度等)	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(Ⅰ度・Ⅱ度)	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(Ⅲ度・Ⅳ度)	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人
	ネブライザー	人	浣腸	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人		
うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人			
延利用者数(5月中)	人			
利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり 2 入院なし 3 把握していない			
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無 入院日数の合計別ケース数 ※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。	1 あり		2 なし	
	3日以下	4日以上		
	ケース	ケース		

就労作業品目 (5月中) (複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品、印刷 エ. 木工、工芸品 オ. 環境、リサイクル カ. 農産品、草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()			
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成22年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし			
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人			
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり 2 算定なし			
通所サービス等利用促進事業の利用(5月中)	1 利用あり 2 利用なし			
要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に研修未受講	
	常勤	人		人
	非常勤	人		人
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。		
発達障害者の実人数	人			
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない			
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり 2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。		
高次脳機能障害者の実人数	人 → 障害者手帳・障害基礎年金をいすも持っていない: ()人			
就労支援事業等活動	就労支援事業等活動収入		就労支援事業等活動支出	
収支(平成22年度) ※調査対象サービス単体での記入が困難な場合、就労支援サービスの合算値を記入して下さい。	1 就労支援事業収入(授産事業収入)	就労支援事業販売原価		
	2 引当金戻入	期首製品(商品)たな卸高		
	3 国庫補助金等特別積立金取崩額	当期就労支援事業製造原価		
		1 材料費		
		2 労務費		
		3 外注加工費		
		4 経費		
		当期製品(商品)仕入高		
		期末製品(商品)たな卸高		
		2 販売費及び一般管理費		
	3 徴収不能額			
	4 引当金繰入			

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査 【15 就労継続支援A型】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。				
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO)	7 その他の法人(社団・財団、農協、生協等)		
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護 6 児童デイサービス 7 短期入所	8 重度障害者等包括支援 9 共同生活介護(ケアホーム) 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 自立訓練(宿泊型) 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型	15 就労継続支援B型 16 共同生活援助(グループホーム) 17 指定相談支援 18 介護保険の訪問介護(介護予防含む) 19 訪問看護(医療保険、介護保険) 20 1～19にはない		
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 2 身体障害者更生援護施設 3 知的障害者援護施設	4 児童福祉施設 5 精神障害者社会復帰施設 6 介護保険施設・事業所	7 1～6との併設はない		
定員(5月末日現在)	人				
開所日数(5月中)	日				
実利用者数(5月中)	人 →うち、雇用契約を締結している者:()人				
療育手帳の状況別	最重度・OA・A1・1度	度・A A2・2度	度・B B1・3度	度・C B2・4度	人
	人	人	人	人	
精神保健福祉手帳の状況別	1級	2級	3級	なし	人
	人	人	人	人	
障害基礎年金の受給状況別	1級	2級	なし		人
	人	人	人		
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人	
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人	
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人	
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人	
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人	
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人	
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人	
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人	
	ネブライザー	人	浣腸	人	
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人	
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人	
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人	
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人			
	うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人			

うち、施設入所支援(新体系)を利用している者	1 いる	2 いない						
	↓							
入所期間、障害程度区分、年齢階級の状況	当該施設への入所期間	障害程度区分	18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	
	5年以下	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	5年超10年以下	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	10年超	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	延利用者数(5月中)	人 →うち、雇用契約を締結している者:()人						
	利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり	2 入院なし	3 把握していない				
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無	1 あり	2 なし						
	入院日数の合計別ケース数	3日以下	4日以上					
※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。	ケース	ケース						
就労作業品目(5月中)(複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品、印刷 エ. 木工、工芸品 オ. 環境、リサイクル カ. 農産品、草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()							
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成22年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし							
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人							
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり		2 算定なし					
通所サービス等利用促進事業の利用(5月中)	1 利用あり		2 利用なし					

要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に研修未受講	
	常勤	人		人
	非常勤	人		人
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。	
発達障害者の実人数	人			
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない			
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。	
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人			
就労支援事業等活動	就労支援事業等活動収入		就労支援事業等活動支出	
収支(平成22年度)	1 就労支援事業収入(授産事業収入)		1 就労支援事業販売原価	
※調査対象サービス単体での記入が困難な場合、就労支援サービスの合算値を記入して下さい。	2 引当金戻入		期首製品(商品)たな卸高	
	3 国庫補助金等特別積立金取崩額		当期就労支援事業製造原価	
			1 材料費	
			2 労務費	
			3 外注加工費	
			4 経費	
			当期製品(商品)仕入高	
			期末製品(商品)たな卸高	
			2 販売費及び一般管理費	
			3 徴収不能債	
		4 引当金戻入		

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■

障害福祉サービス提供実態調査 【16 就労継続支援B型】

- 調査実施主体
株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部（担当：高森、山田（栄））
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- 調査票返送先・記入に関する問合せ先
「障害福祉サービス提供実態調査」事務局（担当：高橋、油目）
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-1豊島屋ビル3階MRA
電話：03-3518-8498（土日祝除く9時30分～18時）
- 提出期限：平成23年6月17日（金）
※同封の返信用封筒（切手不要）に回答調査票を入れ、投函してください。

東日本大震災による影響(5月中)	1 影響あり(被災地からの障害者受け入れによる定員超過、被災地への職員派遣による表欠等がある) →調査はこれで終わりです。このまま調査票を返送して下さい。 2 影響なし →以下の設問に回答して下さい。			
経営主体	1 都道府県、市区町村、広域連合・一部事務組合 2 社会福祉協議会 3 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		4 医療法人 5 営利法人(株式・合名・合資・合同会社) 6 特定非営利活動法人(NPO) 7 その他の法人(社団・財団・農協・生協等)	
同一所在地で実施しているその他のサービス(複数回答可)	1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 行動援護 4 療養介護 5 生活介護 6 児童デイサービス 7 短期入所		8 重度障害者等包括支援 9 共同生活介護(ケアホーム) 10 自立訓練(機能訓練) 11 自立訓練(生活訓練) 12 自立訓練(宿泊型) 13 就労移行支援 14 就労継続支援A型	
併設の状況 ※同一法人(実質的同一経営を含む)が同一又は隣接の敷地内で運営している施設	1 指定障害者支援施設 2 身体障害者更生援護施設 3 知的障害者援護施設		4 児童福祉施設 5 精神障害者社会復帰施設 6 介護保険施設・事業所 7 1～6との併設はない	
定員(5月末日現在)	人			
開所日数(5月中)	日			
実利用者数(5月中)	人			
療育手帳の状況別	最重度・OA・A1・1度	度・A A2・2度	度・B B1・3度	度・C B2・4度
	人	人	人	人
精神保健福祉手帳の状況別	1級	2級	3級	なし
	人	人	人	人
障害基礎年金の受給状況別	1級	2級	なし	
	人	人	人	
うち、医療的ケアを必要とする者	吸引(咽頭手前までの口腔内)	人	持続モニターの管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	人
	吸引(鼻腔)	人	じょくそうの処置(I度・II度)	人
	吸引(咽頭より奥または気管切開)	人	じょくそうの処置(III度・IV度)	人
	経鼻経管栄養	人	創傷処置	人
	胃ろうによる栄養管理	人	疼痛管理(麻薬の使用あり)	人
	点滴	人	疼痛管理(麻薬の使用なし)	人
	膀胱(留置)カテーテルの管理	人	インスリン注射	人
	人工肛門(ストーマ)のケア	人	導尿	人
	ネブライザー	人	浣腸	人
	酸素療法(酸素吸入)	人	摘便	人
	気管切開のケア	人	服薬管理(麻薬の管理を除く)	人
	人工呼吸器の観察	人	麻薬の管理	人
	中心静脈栄養(ポート(埋め込みタイプ)を含む)	人		
	うち、施設・事業所が送迎した者(5月中の実績)	人		

うち、施設入所支援(新体系)を利用している者	1 いる	2 いない						
	↓							
入所期間、障害程度区分、年齢階級の状況	当該施設への入所期間	障害程度区分	18歳未満	18歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上65歳未満	65歳以上	
	5年以下	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	5年超10年以下	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	10年超	区分1	人	人	人	人	人	
		区分2	人	人	人	人	人	
		区分3	人	人	人	人	人	
		区分4	人	人	人	人	人	
		区分5	人	人	人	人	人	
		区分6	人	人	人	人	人	
		非該当・その他(認定中等)	人	人	人	人	人	
	延利用者数(5月中)	人						
	利用者の入院の状況(5月中)	1 入院あり	2 入院なし	3 把握していない				
従業者が病院または診療所を訪問し、入院期間中の被服等の準備や利用者の相談支援など、日常生活上の支援を行うとともに、退院後の円滑な生活移行が可能となるよう、病院または診療所との連絡調整を行ったケースの有無 入院日数の合計別ケース数 <small>※入院の初日・最終日を除いてカウントして下さい。</small>	1 あり	2 なし						
	3日以下	4日以上						
	ケース	ケース						
就労作業品目(5月中)(複数回答可)	1 事業所内での下請・内職作業 →具体的に(複数回答可) [ア. 梱包・袋入れ等の軽作業 イ. 加工・組立作業 ウ. 名刺・チラシ等の印刷 エ. リサイクル作業 オ. クリーニング作業 カ. その他] 2 自主製品の製造販売 →具体的に(複数回答可) [ア. 食品加工 イ. 手芸・縫製品 ウ. 紙製品、印刷 エ. 木工、工芸品 オ. 環境、リサイクル カ. 農産品、草花 キ. その他] 3 事業所外での労務提供 →具体的に(複数回答可) [ア. 清掃 イ. 企業内作業 ウ. ポスティング・配達 エ. 植栽管理 オ. 接客 カ. その他] 4 飲食店、喫茶店等ショップ経営 5 その他()							
利用者の集団定期健康診断実施状況(平成22年度)	1 実績あり →実施回数:()回、延受診者数:()人、費用総額:()千円 2 実績なし							
ジョブコーチ有資格者の実人数(5月末日現在)	人							
食事提供体制加算の算定(5月中)	1 算定あり		2 算定なし					
通所サービス等利用促進事業の利用(5月中)	1 利用あり		2 利用なし					

要件が経過措置対象となっているサービス管理責任者の実人数(5月末日現在)	経過措置対象のサービス管理責任者(研修未受講)		うち、定員超過を理由に研修未受講	
	常勤	人		人
	非常勤	人		人
発達障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※発達障害者とは、手帳の有無にかかわらず、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害として、医師の確定診断を受けている者をいいます。	
発達障害者の実人数	人			
特別な職員の配置(複数回答可)	1 心理担当職員 2 理学療法士 3 作業療法士 4 言語聴覚士 5 その他職種 6 特別な配置はしていない			
高次脳機能障害者の利用(5月中)	1 実績あり ↓	2 実績なし	※高次脳機能障害者とは、手帳の有無にかかわらず、器質性精神障害として医師の確定診断を受けている者をいいます。	
高次脳機能障害者の実人数	人 →うち、障害者手帳・障害基礎年金のいずれも受けていない者:()人			
就労支援事業等活動	就労支援事業等活動収入		就労支援事業等活動支出	
収支(平成22年度) ※調査対象サービス単体での記入が困難な場合、就労支援サービスの合算値を記入して下さい。	1 就労支援事業収入(授産事業収入)		1 就労支援事業販売原価	
	2 引当金戻入		期首製品(商品)たな卸高	
	3 国庫補助金等特別積立金取崩額		当期就労支援事業製造原価	
			1 材料費	
			2 労務費	
			3 外注加工費	
			4 経費	
			当期製品(商品)仕入高	
			期末製品(商品)たな卸高	
			2 販売費及び一般管理費	
			3 徴収不能債	
			4 引当金戻入	

■■■調査は以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました■■■